

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)



場所

高梁市成羽町下原



時代

江戸時代



指定年月日

平成14(2002)年
1月31日



所有

個人



見学

見学可

なりわはんかんじょうしょ

成羽藩勘定所

新見市

高梁市

総早倉矢井浅里笠
社島敷掛原口庄岡
市町市町市市町市



この建造物について

この建物は、江戸時代の成羽藩勘定所で、山崎氏時代の中央役所の面影を伝える建造物です。

屋根の鬼瓦には山崎氏の家紋が見られ、昔の姿をよく留めています。

勘定所は、年貢蔵米の管理をはじめ、成羽の財政を支えた高瀬舟運行と運上金管理、山林資源の経営管理、さらには連島や大坂中之島の飛び領地支配などを所管しており、成羽領政の心臓部となる重要な役所でした。

頑丈な土壁で囲い、天井の上のせた瓦葺きの大屋根など、周到なまでに火事や盗難、防災機能をもった建物で、江戸時代の建造物として貴重です。